

平成29年度 相模原中央支援学校 不祥事ゼロプログラム

相模原中央支援学校は、事故不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり「不祥事ゼロプログラム」を定める。

1 実施責任者等

神奈川県立相模原中央支援学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長が校長を補佐し、事故防止会議等の指揮にあたる。

2 目標・行動計画

別紙参照

3 検証

2に規定する行動計画について、平成29年10月中旬に実施状況の中間検証、及び平成30年3月初旬までに各目標の達成についての検証を行う。

4 実施結果

3の検証を踏まえた「検証結果」を、相模原中央支援学校ホームページに掲載する。

5 次年度計画の策定

平成29年度不祥事ゼロプログラムの検証結果を踏まえて、平成30年度不祥事ゼロプログラムを策定する。

取組み課題		目 標	行 動 計 画	検証結果
1	法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底)	職員一人ひとりに常に公務員としての自覚を持たせ、公務外非行を防止する。	①事故防止会議、不祥事防止研修会等で公務外非行に関する注意喚起を繰り返すことで、公務員としての自覚を深める。 ②職員同士がコミュニケーションを取り合える、風通しの良い職場づくりを推進する。	
2	わいせつ・セクハラ行為の防止	職員や幼児・児童・生徒の人権を守るための取組みを通して、わいせつ・セクハラ行為、体罰や不適切指導を未然に防止する。	①長期休業期間を利用し、外部講師による校内人権研修会を実施する。 ②わいせつ・セクハラ行為の防止を目的とした外部講師による研修会を実施する。 ③体罰や不適切指導防止に関する事故防止会議、不祥事防止研修会等を実施する。	
3	体罰、不適切な指導の防止			
4	個人情報等の管理・情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する。	①個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深めるための研修を実施する。 ②所属 USB メモリ等の記録媒体を使用する場合は、使用に係る手続きを徹底し、職員間でも返却等を確認し合う。 ③個人情報の紛失・誤廃棄などを防止するため、持ち出し許可などの個人情報登録に係る手続きを徹底する。	
5	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を徹底し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。	①職員啓発資料等をもとに、交通事故等の防止に向けた研修会を実施する。 ②軽微な違反もしないという高いコンプライアンス意識を醸成する。	
6	業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	法令・要綱・マニュアル等諸規程に基づき、日常点検や相互チェックを行ない適正に業務を遂行する。	①各種業務遂行に当たり、マニュアル等を遵守するとともに、複数による点検を的確に行い、不祥事防止の徹底を図る。 ②管理職等への「ほう・れん・そう」を徹底し、不祥事の未然防止を図る。 ③情報共有、業務協力体制を確立し、特定個人に負担がかからないよう留意する。	
7	会計事務等の適正執行	県費及び私費会計について、適正な執行、現金の適切な管理等により、会計に係る不祥事を防止する。	①会計事務にかかる諸規程の遵守、予算の計画的な執行及び複数による確認等の徹底により、不適正経理を防止する。 ②「私費会計事務処理の手引」に基づく執行方法の周知を図る。	
8	不祥事根絶	不祥事防止に向けた注意喚起、不祥事を絶対起こさないという意識を醸成する。	①不祥事を防止するため、全職員を対象とした校長との個別面談を実施する。	